

令和7年度 外国語科「英語コミュニケーションⅡ」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	全学科 3年ABC組
教科書	All Aboard! English Communication II (東京書籍)	副教材等	アクセスアンカー英和辞典 (学習研究社)

1 学習の到達目標

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を有する、より自律的な英語学習者を育成することを目指す。

(1) 聞くこと

- ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。
- イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

(2) 読むこと

- ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

(3) 話すこと [やり取り]

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。

(4) 話すこと [発表]

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。

(5) 書くこと

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

2 評価の観点

知識・技能	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き、言語の背景にある文化などについて理解を深め、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できる基礎的な技能を身につけている。
思考・判断・表現	・目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について、英語で情報や考えなどを的確に理解・表現したり、伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	・英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

3 評価の方法

次の3観点を、記載の評価資料に基づいて abc の3段階で評価します。

- ・ 知識・技能 : 定期考査, 小テストなど
- ・ 思考・判断・表現 : 定期考査, 小テスト, パフォーマンステスト, レポートなど
- ・ 主体的に学習に取り組む態度 : パフォーマンステストなど

4 担当者からのメッセージ

◎授業について

1. 英語の授業は、体育や芸術の授業と似ています。教師が黒板に書き、それを皆さんがノートに書き写すだけではなく、皆さん自身が積極的に参加して初めて成立する授業と言えます。主体的に行動する勇氣を持って参加してください。
2. NO 欠席, NO 遅刻, NO 未提出, NO おしゃべり, FULL 活動, FULL MARKS。これが BEST です。

5 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の観点	領域					評価項目数	評価の材料等	
					聞	読	取	発	書			
4	Pre-Lesson My Plans for This Year 今年やってみたいこと	・ to 不定詞 ・ 助動詞 will	・ 今年やってみたいことなどを to 不定詞や助動詞 will などを用いて英語で伝え合う。	知				○	○	6	活動観察 ワークシート 小テスト	
	Lesson1 A Colorful Island ブラーノ島	・ 関係代名詞 what	・ 海外の観光地について学習する。 ・ 関係代名詞 what を用いた文の形・意味を学習し、実際に使ってみる。	知	○	○	○	○	○			15
Communication 1 病院で診察	・ 症状や気分の表現	・ 病院で診察を受ける場面においてよく使われる表現を学習し、実際に対話をする。	知	○	○	○	○	○	15			
5	Lesson2 With the Beatles サムのリクエスト	・ 比較表現	・ 比較表現 (more) (the most) を用いた文の形・意味を学習する。 ・ 世代を超えて人気のある音楽バンドについて学び、好きな人物について調べた事柄を伝え合う。	知	○	○	○	○		○		
	Word Box1 Feelings and Emotions	・ 感覚や感情の表現	・ 感覚や感情を表す単語や表現を学ぶ。 ・ 自分がどんなときにどんな感情になるのかということについて、書いて実際に伝える。	知	○	○				○		9
				思	○	○			○			
6	中間考査			知		○			○	4		
				思		○			○			
				態								
	Lesson3 Wild Men	・ it の用法	・ it を用いた文 (It is ... (for →) to ~) (It is ... that ~) の形・意味を学習する。	知	○	○	○	○	○	15		
				思	○	○	○	○	○			

11	Communication2 入国審査		・海外旅行先の空港で入国審査の手続きにおける、旅行の目的や滞在日数などを申告する表現を学習する。	知	○		○	○		9	活動観察 ワークシート 小テスト	
	Lesson8 Inspiration from Nature 自然のデザインに学ぶ	・知覚動詞	・知覚動詞を用いた文の形・意味を学習する。 ・生物模倣について学び、自然界のデザインをヒントに開発された製品について自分で調べた情報などを話して伝え合う。	知	○	○	○	○	○			15
				思	○	○	○	○	○			
態				○	○	○	○	○				
12	文法のまとめ3	・動詞の目的語になる if 節 ・関係副詞 ・知覚動詞	・「動詞の目的語になる if 節」「関係副詞」「知覚動詞」を学習する。	知	○		○	○		9		
				思	○		○	○				
				態	○		○	○				
期末考査				知		○			○	4		
				思		○			○			
				態								
1	Lesson9 The Bitter Truth behind Chocolate 甘いチョコレートの苦い 現実	・使役動詞	・使役動詞を用いた文の形・意味を学習する。 ・チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について、伝え合う。	知	○	○	○	○	○	15		
				思	○	○	○	○	○			
				態	○	○	○	○	○			
Lesson10 Fighting Angel ナイチンゲール 【授業内テスト】	・分詞構文	・分詞構文を用いた文の形・意味を学習する。 ・医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯について学習する。		知	○	○	○	○	○	15		
				思	○	○	○	○	○			
				態	○	○	○	○	○			